



2017年10月号
八千代特別支援学校

木々の葉も色づきはじめ、すっかり秋らしくなってきましたね。日中は過ごしやすいですが、朝晩は気温がぐっと下がります。体調をくずさないように気を付けましょう。10月17日～10月23日は「薬と健康の週間」です。今月は薬についてです。

1 内用薬の種類（口から飲む薬）

錠剤



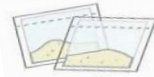
薬の成分を
固形状に
固めたもの

カプセル剤



液状や顆粒状の
薬をゼラチン等の
カプセルにつめた
もの

散剤（粉薬）



薬が早く効くよ
うに粉状に加工
したものの。

液剤（シロップ）



薬の成分が溶
けているため、
服用しやすい。

錠剤の中には、口腔内崩壊錠（OD錠）という、口の中ですぐに溶け、水がなくても飲める薬もあります。

錠剤が飲めなくて困ったり、旅行のときにシロップ薬の携帯に困ったりしたことはありませんか？

同じ成分でも剤型の違うものもあるので、主治医と相談してみてもいいかもしれません。

2 薬の作用に影響を与える食べ物

〈グレープフルーツ〉



テグレトール（抗てんかん薬）やオーラップ（抗精神病剤）などの一部の薬は、グレープフルーツの摂取を制限していることがあります。

グレープフルーツには、薬の分解を阻害する成分（フラノクマリン類）が含まれ、薬の血中濃度を高めます。このため薬が強くなりすぎたり、副作用が現れたりする可能性があるからです。

グレープフルーツ以外にもフラノクマリン類が含まれる柑橘類があります。ブンタン・キヌカワ・スウィーティー・ハッサク・晩白柚・夏みかん・ダイダイ・サワーオレンジなど。

主治医とよく相談して服薬しましょう。

薬の作用に影響を与える食べ物には、納豆や牛乳、サプリメントなどもあります。医者や薬剤師と相談し、飲み合わせに注意して服薬しましょう。